【コーラスハルミオン創立２２周年記念成果発表会】

ハルミオンは創立２２周年を記念し、２０２２年５月２９日（日）に「けやきホール」（東京都渋谷区）で成果発表会を催しました。コロナ禍の影響で月例練習を２０２０年３月から全面的に休止。１年１０か月後の２０２１年１２月にやっと再開できたものの、その２か月後には再び休止を余儀なくされるなど、この日を含めて僅か４回しか練習が出来ていないという状況下での発表会でした。

当初は、創立２０周年を迎えた２０２０年５月に同ホールで記念コンサートを開催する計画でした。しかし、コロナ禍で叶わず、一年後に計画したリベンジコンサートも実現できませんでした。結局、記念行事としては、２０２１年５月に同ホールでコンサートに振り替えて実施した再会練習会（団員が月例練習休止から１年３か月ぶりに実施した特別練習会）だけでした。

こうして迎えた成果発表会の当日、ハルミオンは午前中から小野瀬照夫先生の指導で練習に取り組みました。完成度の高い演奏はできないまでも、愛をお届けしたいという一念でした。

午後４時、発表会は高橋晴美先生のご挨拶【写真、左】と、ハルミオンのセレクトメンバーで構成する「Pure Voices」の演奏【写真、右】で始まりました。伴奏は、高橋晴美先生のピアノに八木秀樹さんのベースとパーカッションが加わった贅沢な編成でした。「Pure Voices」は、メンバーの大半が入れ替わったとはいえ、ハルミオンの練習休止期間中も高橋晴美先生のご自宅に通ってレッスンに励んだだけに、一体感のある演奏は、聴かれた方々の心に新鮮な感動を伝えたようでした。

一方、発表会の後半を受け持ったハルミオンは、合唱バージョンでは初演となる２曲を含む全７曲（僕はアスリート、歌が息をする、母に贈るうた、どこかで誰かが～全ての命と共に～、夢咲き島、ひとつ、Cantare～歌よ大地に響け～）を小野瀬照夫先生の指揮、高橋晴美先生と八木秀樹さんの伴奏で演奏しました【写真、左】。この時点で可能な精一杯のパフォーマンスでしたが、それにもかかわらず、お客様からはたくさんの暖かい拍手と笑顔を頂戴し、今後への大きな励みになりました。なかでも心に残ったのは、予定曲の演奏が終わってアンコールの「ひとつ」の後、拍手が鳴りやまず、小野瀬先生の提案で「Cantare～歌よ大地響け～」をもう一度お客様と一緒に合唱したことでした。ハルミオンがお客様の温かい励ましに支えられているということを、改めて心に焼き付けることができました。ありがとうございました。

次回は、コンサート会場でお目にかかれますよう念願しています。引き続きハルミオンへのご支援をよろしくお願い致します。

コーラスハルミオン・堀江熙